パウロ家族へのメッセージ

愛する兄弟姉妹の皆さん、

この期間、わたしたちは第 9 回総会のテーマ「受けた賜物を燃え上がらせなさい――パウロ的カリスマの 100 年史に対する創造的忠実」に鼓舞されて、わたしたちのパウロ的アイデンティティーについて考察をしてきました。

今回もまた、わたしたちはパウロ家族であることの豊かさを再確認しました。総会の間、常に皆さんが近くにいてくださり、支えてくださり、祈りをささげてくださいました。わたしたちはまた、この世の中でわたしたちを兄弟姉妹として成長させてくれる大小のさまざまな体験をしていることを心に留めました。このことに対して主に、そして皆さんすべてに感謝します。

その一方で、わたしたちの父親であり、創立者である福者ヤコブ・アルベリオーネの「プロジェクト」を全面的に実現するには、まだ長い道のりを歩まなければならないことをも認識しました。この「プロジェクト」は、50 年前に、ここアリッチャで最初のパウロ会員たちに対してなされた 1 カ月の霊的修養の中で明確に表現されました。アルベリオーネは、「**神の摂理が、聖パウロ修道会と並んで**」、それぞれが固有の統治、法規、運営、そして独自の使徒職を有するパウロ家族の諸会を「**産み出した**」ことを認めています。福者アルベリオーネは強調しています。「**すべての会は一緒になって、パウロ家族を形づくります。すべての会は、共通の起源を持っています。すべての会は、共通の霊／精神を持っています。すべての会は、同じところへと導く目的を持っています**」（*UPS*, III, 185）。

パウロ家族における在俗的奉献生活の諸会に属する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちはパウロ家族における皆さんの重要性と固有性、そしてわたしたちの責任とをあらためて認識しました。皆さんは、アルベリオーネ神父によれば、聖パウロ修道会の「固有のわざ」だからです。わたしたちは、皆さんと共なる歩みをよりよいものにしたいと心から望んでいます。

聖パウロの協力者会の会員およびこれに共鳴する皆さん、皆さんのことでも、そしてパウロ家族の使命の中にある皆さんたち信徒の召命についても、わたしたちは神に感謝しています。わたしたちが歓喜に満ちた協働をもって皆さんと共に歩むことができるよう、主が助けてくださいますように。

わたしたちの総長たちは、2014 年を「パウロ家族設立 100 周年」として一緒に生きることを決めました。わたしたちは、この記念の年がわたしたちすべてを共に導いてくれるよう願っています。

— 主が創立者をとおしてお望みになったように、パウロ家族であるというカリスマを全面的に理解するように。
— わたしたちの使徒職の相互補完性の中で使徒職における協働をさらに駆り立てるように。
— 共通の起源と霊性から出発して、アルベリオーネ神父にとってあれほど大切であった目的の一致の実現となるような、パウロ家族としての「新しい福音宣教の全面的なプロジェクト」の共有へと到達するまで。

主がこの歩みをおこなうわたしたちと共にあって、わたしたちを導いてくださいますように。そして、わたしたちを、創立者への創造的忠実のうちに、毎日少しずつ前進しながら、一緒に「今日の人々のために何かをおこなう」ことができる者としてくださいますように。

2010 年 5 月 14 日、アリッチャ（ローマ）

聖パウロ修道会第 9 回総会議員一同

IX CAPITOLO GENERALE
Casa Divin Maestro - 00040 ARICCIA - Tel. (39) 06.93.48.61
capitologenerale@paulus.net - www.paulus.net/cg2010